



検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、項目名称、検査内容および報告書様式を変更させていただくことになりましたのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

ノロウイルスRNAマルチ

(依頼コードNo.375)

変更日 2007年12月1日(土) 受付分より

これまでのノロウイルスRNA G /G に加え、発生頻度は低いものの、乳幼児のウイルス性胃腸炎の原因として知られているロタウイルスA群、ロタウイルスC群、アデノウイルス40/41型、アストロウイルスの4種類も同時測定致します。各ウイルスについて、(+)または(-)の定性判定結果をノロウイルスG、Gの結果に続けて併記致します。それに伴い、検査項目名称を現在の「ノロウイルスRNA」から「ノロウイルスRNAマルチ」に変更させていただきます。なお、変更内容は裏面をご参照ください。また、採取容器(F-9) 報告日数に変更はございません。

症状の特徴

ノロウイルス	汚染された食物(生カキ、サラダなど) 飲料水などを介して感染し、学童、成人、老人施設に集団発生し易い。毎年、乳児以上のウイルス性下痢症の大多数を占める。
ロタウイルス(A群)	1月初旬からインフルエンザより先に乳幼児の間で流行し、生後6ヶ月から2歳までが好発年齢で、重症化し易い。
ロタウイルス(C群)	主に3歳以上の年長児や成人にみられ、春から夏にかけて比較的多く、A群のような大規模な流行は殆どない。
アデノウイルス(40/41型)	主に3歳未満の乳幼児にみられ、この年齢層の感染性胃腸炎ではA群ロタウイルスに次いで多い。通年性であるが、夏期にやや多いこと、比較的軽症で発熱が少ないことがA群ロタウイルスとは異なる。
アストロウイルス	主に乳幼児に散発性の急性胃腸炎を起こすが、成人や老人施設で流行することもある。冬期に発症するが、一般に軽症で嘔吐や発熱も少ない。
別検査項目 サポウイルス	ノロウイルスと同じカリシウイルス科に属し、乳幼児のウイルス性嘔吐下痢症の数%から検出される。食中毒などの集団発生を伴うこともあるが、ノロウイルスと比べて非常に少ない。予後は比較的良好。

註) サポウイルスについては同時測定できませんので、別項目のサポウイルスRNA(依頼コードNo.7913)をご利用ください。

ここ数年、毎年冬場にはノロウイルスによるウイルス性胃腸炎(嘔吐・下痢症)が全国的に多発していますが、上表に挙げたその他のウイルスでも類似の症状を示しますので、ノロウイルスRNA検査陰性例からこれらのウイルスが検出されることがあります。

裏面に続きます

変更内容

	新	現行
項目コード・項目名	375 (親) ノロウイルスRNAマルチ 6738 (子) ノロG1 6739 (子) ノロG2 6752 (子) ロタA 6755 (子) ロタC 6756 (子) アデノ40/41 6779 (子) アストロ	375 (親) ノロウイルスRNA 6738 (子) G1 6739 (子) G2
結果報告表記の実例	ノロウイルスRNAマルチ ノロG1 (-) ノロG2 (+) ロタA (-) ロタC (-) アデノ40/41 (-) アストロ (-)	ノロウイルスRNA G1 (-) G2 (+)
ノロウイルスG2が陽性		

専用採便容器使用のお願い

ノロウイルスRNA検査、サポウイルスRNA検査は、ウイルス核酸を抽出してRT-PCR法により遺伝子増幅反応を行いますので、必ず専用採便容器(コードF-9)に適量を採取して密栓後、速やかに凍結保管してください。特に、密封性の悪い容器に水様便を採取されますと、検体解凍時に内容物が漏出してクロスコンタミネーションによる偽陽性の発生や、作業者への感染事故を招く危険性が高まりますのでご注意ください。